



GREENSTAFF

Life sciences

2024年日本転職市場の現状 と

2025年CGT転職市場の動向の予測



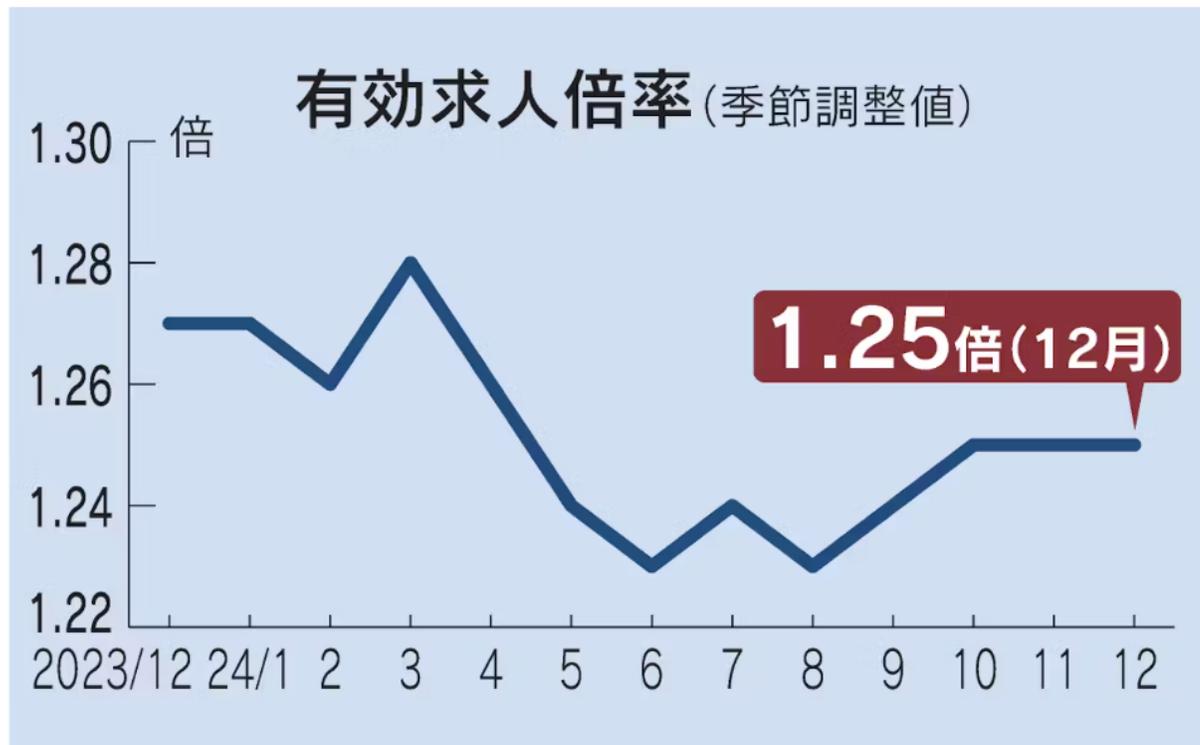


GREENSTAFF
Life sciences



2024年日本の転職 市場の現状

総務省が同日発表した24年の完全失業率は2.5%と、前年から0.1ポイント下がった。



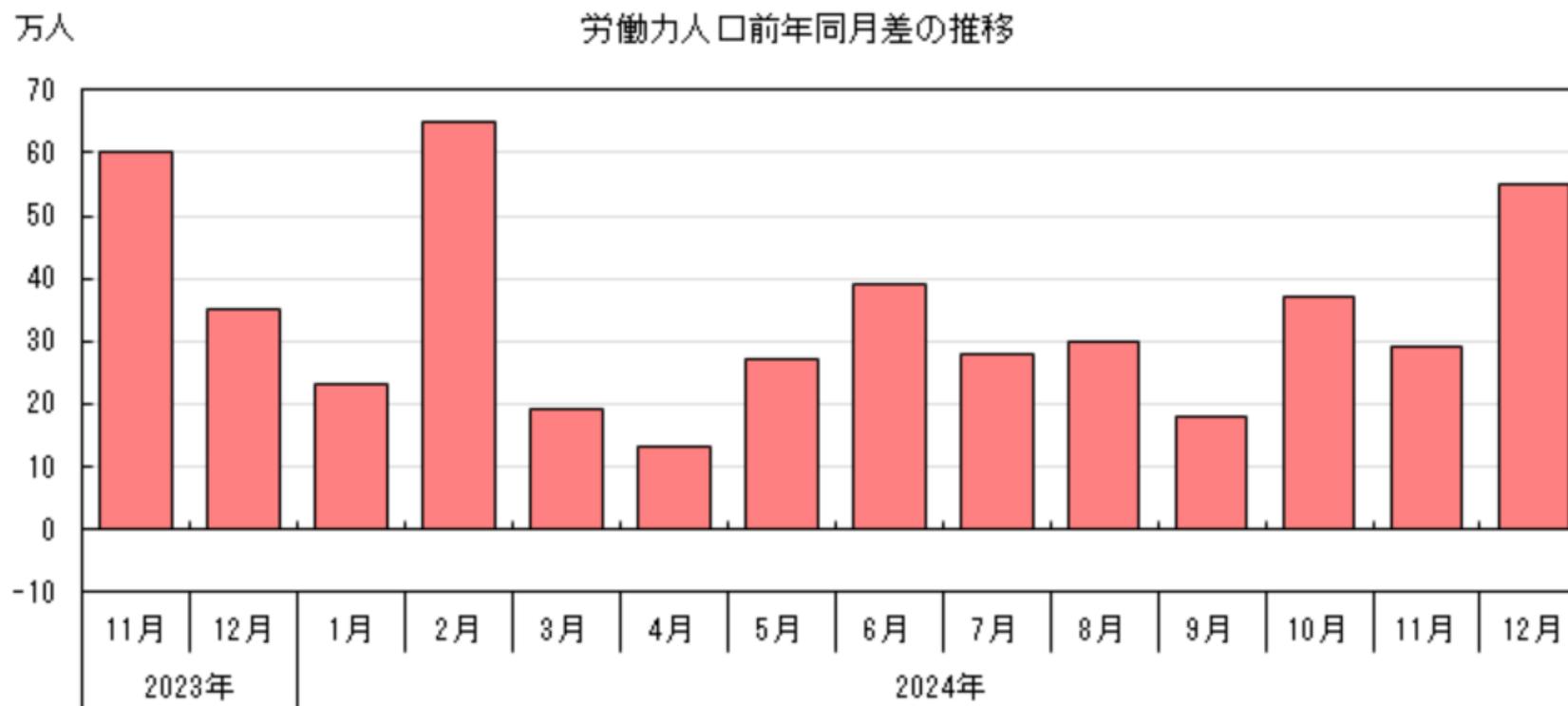
2024年平均の完全失業率は2.5%と、前年に比べ0.1ポイント低下 完全失業者数は176万人と、前年に比べ2万人減少（3年連続の減少）

2024年平均の就業者数は6957万人と、 前年に比べ32万人増加

	15歳以上 人口	労働力人口		労働力率	
			前年差		前年差
	万人	万人	万人	%	ポイント
2019年	11,112	6,912	63	62.1	0.6
2020年	11,108	6,902	-10	62.0	-0.1
2021年	11,087	6,907	5	62.1	0.1
2022年	11,038	6,902	-5	62.5	0.4
2023年	11,017	6,925	23	62.9	0.4
2024年	10,995	6,957	32	63.3	0.4

資料出所：総務省「労働力調査」

労働人口前年同月差の推移



資料出所:総務省「労働力調査」

2024年平均の就業者のうち、前年に比べ増加した産業

- 「情報通信業」は292万人と14万人の増加

- 「医療，福祉」は922万人と12万人の増加

- 「宿泊業，飲食サービス業」は407万人と9万人の増加

一方、「製造業」は1046万人と9万人の減少、
「農業，林業」は180万人と7万人の減少、
「建設業」は477万人と6万人の減少

2024年平均の正規の職員・従業員数は3654万人と、前年に 比べ39万人増加（10年連続の増加） 非正規の職員・従業員 数は2126万人と2万人増加（3年連続の増加）

・正規の職員・従業員を男女別にみると、男性は2355万人と9万人の増加、女性は1299万人と31万人の増加

・非正規の職員・従業員を男女別にみると、男性は682万人と1万人の減少、女性は1444万人と3万人の増加

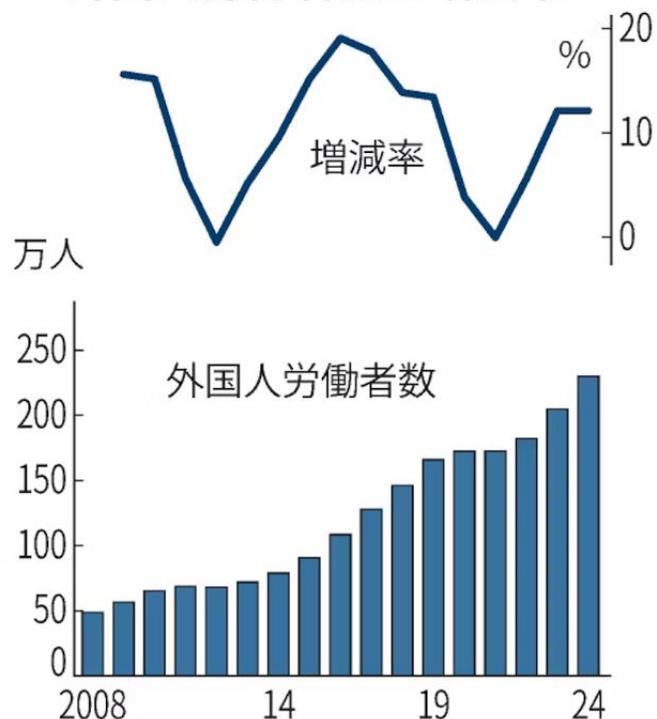
・役員を除く雇用者に占める非正規の職員・従業員の割合は36.8%と0.2ポイントの低下

2024年平均の地域別完全失業率は、11地域中6地域で前年に比べ低下

- 3地域（南関東、東海及び九州）で前年と同率、東北及び中国で上昇
-
- 地域別完全失業率は、6地域（北海道、北関東・甲信、北陸、近畿、四国及び沖縄）で前年に比べ低下
-
- 北陸が2.0%と最も低く、次いで東海が2.1%、中国及び四国が2.2%。一方、沖縄が3.2%と最も高く、次いで東北及び近畿が2.8%、南関東が2.7%

総務省が同日発表した24年の完全失業率は2.5%と、前年から0.1ポイント下がった。

外国人労働者数と増減率



厚生労働省は**31日**、日本で働く外国人が**2024年10月**時点で**230万人**となり、前年に比べて**12.4%**増えたと発表した。増加幅は**25万人**で集計開始の**08年**以降で最大となった。人手不足を背景に企業が採用を強化した。

外国人労働者産業別就業率

- 外国人は就業者全体の**3.4%**を占める。
-
- 伸び率を産業別に見ると、最も高かったのが医療・福祉で**28.1%**増。
-
- 次いで建設業が**22.7%**増、宿泊・飲食サービス業が**16.9%**増だった。

外国人労働者国籍別に見ると

- ベトナムが**57万人**と全体の**24.8%**を占め、

- 次いで中国が**40万人**、

- フィリピンが**24万人**だった。

- 厚労省の担当者は「東南アジアの労働者は受け入れ制度や治安といった要素を韓国や台湾などと比較して、日本を選択している」としている。



GREENSTAFF
Life sciences

2025年CGT転職市場の 動向の予測

遺伝子治療・細胞治療分野のTranslational Research

・CMC人材転職市場の予測

A close-up photograph of a person's hands wearing white gloves, working with a microscope. The hands are positioned near the objective lens and stage of the microscope, which is illuminated with a blue light. The background is dark, and the overall scene is framed by a teal-colored curved shape on the left side.

遺伝子治療・細胞治療分野におけるTranslational Research（転換医学）およびCMC（Chemistry, Manufacturing, and Controls）人材の転職市場は、今後も引き続き活発化すると予測されます。以下に、この分野の転職市場の動向と具体的な予測をまとめました。

需要の高まり

- 。 **急速な技術進歩**：遺伝子治療や細胞治療は、がん免疫療法、再生医療、遺伝子編集などの分野で急速に進展しています。これらの技術革新により、専門的なTranslational ResearchとCMC人材に対する需要が急増しています。
- 。 **規制環境の厳格化**：各国の規制当局が遺伝子治療や細胞治療製品に対して厳しい基準を設けているため、CMCの専門家が求められます。特に、GMP（Good Manufacturing Practice）に基づく製造プロセスの管理や品質保証の経験者は重宝されます。

転職市場の特徴

- **高度な専門性**：Translational ResearchとCMCの両方で、特定のスキルセットや深い専門知識を持つ人材が求められます。そのため、転職市場は比較的狭く、適切な候補者を見つけるのが難しい傾向があります。
- **多様なキャリアパス**：研究機関から産業界への移行や、異なる役職間でのキャリアアップが可能です。例えば、基礎研究から臨床試験、製品開発、製造まで幅広いキャリアパスが用意されています。
- **国際的な動き**：グローバルな企業や研究機関との協力が増えているため、英語力や海外での勤務経験のある人材が優遇される傾向があります。

転職市場のトレンド

- **リモートワークとフリーランスの普及**：テクノロジーの進歩により、リモートワークやフリーランスとして働く選択肢が増えています。特に、データ分析やドキュメント作成などの業務は、場所を選ばずに進められるため、より柔軟な働き方が可能になっています。
- **再教育とスキルアップ**：技術の進歩に対応するため、継続的な学習とスキルアップが重要です。オンライン学習プラットフォームや専門的な研修プログラムへの参加が推奨されます。
- **ネットワーキングの強化**：学会、カンファレンス、業界イベントでのネットワーキングが重要です。これらを通じて、最新の研究動向や求人情報を得ることができます。

具体的な予測

- 。 **供給不足の解消に向けて**：現在、Translational ResearchとCMCの専門家の供給が需要を追い越していない状況です。このギャップを埋めるために、大学や研究機関がこれらの分野の教育プログラムを増やし、専門家の育成に力を入れるでしょう。
- 。 **競争の激化**：優秀な人材を獲得するために、企業間での競争が激しくなることが予想されます。魅力的な待遇やキャリアパスを提供することで、優秀な人材を引きつけようとする動きが加速します。
- 。 **スタートアップ企業の台頭**：多くのスタートアップ企業が遺伝子治療や細胞治療分野に参入しており、これら企業からの求人も増えるでしょう。スタートアップでは、イノベーションを推進する若い才能が求められます。

- 遺伝子治療・細胞治療分野におけるTranslational ResearchとCMC人材の転職市場は、今後も引き続き活発化すると予測されます。高度な専門性と多様なキャリアパスが特徴であり、継続的なスキルアップとネットワーキングが成功の鍵となります。また、企業間での競争が激しくなる中で、魅力的な待遇やキャリアパスを提供できる企業が優位に立つでしょう。
- もし具体的な求人や転職に関するご相談があれば、ぜひお気軽にお問い合わせください。
GSライフサイエンスは、この分野の専門家として、最適なソリューションをご提供いたします。



GREENSTAFF
Life sciences

THANK YOU